

**2** 次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

明日

室生犀星

① 明日もまた遊ぼう！

② 時間をまちがえずに来て遊ぼう！

③ 子供は夕方になってそう言って別れた、

わたしは遊び場所へ行って見たが

いい草のかおりもしなければ

楽しそうには見えないところだ。

むしろ寒い風が吹いているくらいだ。

それだのにかれらは明日もまた遊ぼう！

④ 此処へあつまるのだと誓って別れて行った。

問1 — 線① 「時間をまちがえずに来て遊ぼう！」には、子供の

どんな気持ちが表示されていますか。最もよいものを次のうちから

選び、記号で答えなさい。

ア 遊べるときには遊んでおきたい。

イ いつまでも遊んでいたい。

ウ 時間を少しもむだにしないで遊びたい。

エ ちよっとでも早く来て遊びたい。

〔 〕

問2 — 線② 「わたしは遊び場所へ行って見た」とありますが、

そのときの「わたし」の気持ちとして最もよいものを次のうち

から選び、記号で答えなさい。

ア 自分もいっしょに遊びたい。

〔 〕

- イ 遊び場所にはどうやって行くのだろう。
- ウ 自分もだれかと遊ぼう。
- エ 遊び場所には何があるのだろう。

〔 〕

問3 — 線③ 「此処」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

- (1) 「此処」は子供にとってどんなところですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア つまらないところ。

イ 楽しいところ。

ウ よく知らないところ。

エ 不思議なところ。

〔 〕

- (2) 「此処」は「わたし」にとってどんなところですか。詩の中から十字以上十五字以内で書きぬきなさい。


問4 この詩でえがかれている子供から感じられることとして最も

よいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 遊ぶことしか頭にないおさなさ。

イ 遊びであってもきちんと約束をするまじめさ。

ウ 寒さに負けないで遊ぼうとする強さ。

エ 遊ぶことそのものを楽しめるじゆんすいさ。

〔 〕

## 3

次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

昨日はどこにもありません  
三好達治

昨日はどこにもありません

あちらの<sup>たんす</sup>箆<sup>ひきだ</sup>の抽出しにも

こちらの<sup>つくえ</sup>机の抽出しにも

昨日はどこにもありません

それは昨日の写真でしょうか

そこにあなたの立っている

そこにあなたの笑<sup>わら</sup>っている

それは昨日の写真でしょうか

いいえ昨日はありません

今日を打つのは今日の時計

昨日の時計はありません

今日を打つのは今日の時計

昨日はどこにもありません

昨日の部屋はありません

それは今日の<sup>\*まどか</sup>窓掛けです

それは今日のスリッパです

今日悲しいのは今日のこと

昨日のことではありません

昨日はどこにもありません

今日悲しいのは今日のこと

いいえ悲しくありません

何で悲しいものでしょう

昨日はどこにもありません

何が悲しいのですか

昨日はどこにもありません

そこにあなたの立っていた

そこにあなたの笑っていた

昨日はどこにもありません

\*窓掛けIIカーテン。

問1 この詩で、何度もくり返されている一行を書きぬきなさい。

問2 線部「あちらの箆の抽出しにも」とあわせて対句法が使われている行を詩の中から書きぬきなさい。

問3 この詩から受ける感じとして最もよいものを次のうちから選

び、記号で答えなさい。

ア 前向きな感じ。      イ しずんだ感じ。

ウ さわやかな感じ。      エ なやましい感じ。

## ◆ ことわざ

古くから伝えられている教えやいましめなどを短く表現したことわざを「ことわざ」といいます。

① 対になる二つの表現をならべたもの

【例】帯に短したすきに長し

② おおげさな言い方 【例】ちりも積もれば山となる

③ 数字を使ったもの 【例】一を聞いて十を知る

④ たとえを使ったもの 【例】かっぱの川流れ

⑤ 意味が似たもの

【例】弱り目にたたり目 || 泣きつ面にはち…不運が重なること。

⑥ 意味が逆のもの

【例】急がば回れ…急ぐ時こそ遠回りでも確実な方法を取れ。

⇔

善は急げ…良いことだと思ったら、ためらわずにすぐ行え。

ことわざを覚えるときは、言葉の意味をじょうきょうからイメージしてとらえるようにすると、より頭に入りやすくなります。

・ 灯台もとくらし

↓ 明かりをともし灯台のすぐ下は、かげになって暗い。

↓ 身近なことはかえって気づきにくい。

・ 桃栗三年柿八年

↓ 芽が出てから実を結ぶまでに、桃と栗は三年、柿は八年かかる。

↓ 何事も成しとげるには時間がかかるものだ。

1 次の意味に合うことわざをあとから選び、記号で答えなさい。

(1) うわさが立つのは、何かしら原因があるからだ。

(2) 止まることなく、すらすらと話す様子。

(3) 他人のものは、何でもよく見えるものだ。

(4) 他人にはうるさく言うが、自分はできていないこと。

(5) 人の知らないところで仕事の手助けをすること。

(6) 前もって用心していれば失敗することがない。

(7) あせらずに待っていれば、よい機会がめぐってくる。

ア 立て板に水 イ 転ばぬ先のつえ ウ 医者の不養生

エ えんの下の力持ち オ 火のないところにけむりは立たぬ

カ となりの花は赤い キ 待てば海路の日和あり

2 次のことわざの意味をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) たなからばたもち

ア 不意をうたれて、おどろきあわてること。

イ 順調だったものが最後に失敗すること。

ウ 思いがけない幸運がころがりこむこと。

(2) 馬の耳に念仏

ア 自分に都合の悪い話は聞かないようにすること。

イ いくら言ってもききめがないこと。

ウ 大事なことをくり返し言い聞かせること。

(3) かべに耳ありしように目にあり

ア ひみつの話はどこからもれるものだ。

イ あらゆる事態にそなえておくことが大切だ。

ウ どれも似かよっていて、ちがいが無い。

**3** 次の各組のことばが、(1)～(3)は似た意味を、(4)～(6)は反対の意味のことわざになるように、□に合う漢字一字を書きなさい。

(1) さるも □ から落ちる || 弘法にも □ のあやまり

(2) 石の上にも □ 年 || □ だれ石をうがつ

(3) □ にかいたもち || とらぬたぬきの皮 □ 用

(4) 果報はねて □ て ↓ まかぬ種は □ えぬ

(5) 下手の □ 好き ↓ 好きこそものの □ 手なれ

(6) 立つ □ あとをにごさず ↓ あとは □ となれ山となれ

**4** 次の文の内容に合うことわざをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 何度注意しても、弟は読み終わった本を片付けけない。 ( )
- (2) 君が加わってくれて、チームはさらに強くなったよ。 ( )
- (3) かばんは大きなものを買っておくほうがいいよ。 ( )
- (4) 一円玉貯金をして、気がつけば五百円たまっていた。 ( )
- (5) こんな近所に有名なそば屋があるとは知らなかった。 ( )
- (6) 若いころは苦労したが、今となってはいい思い出だ。 ( )

- ア 灯台もとくらし
- イ ちりも積もれば山となる
- ウ のれんにうでおし
- エ のどもと過ぎれば熱さを忘れる
- オ おにに金棒
- カ 大は小をかねる

**5** 次の□に漢数字を入れて、ことわざを完成させなさい。

(1) □ 死に □ 生を得る (2) □ 聞は □ 見にしかず

(3) □ 転び □ 起き (4) □ 度あることは □ 度ある

**6** ( )に合うことばを□から選び、ことわざを完成させなさい。また、その意味をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 馬子にも □ ( ) 意味 ( )

(2) ぶたに □ ( ) 意味 ( )

(3) おにの目にも □ ( ) 意味 ( )

(4) 知らぬが □ ( ) 意味 ( )

(5) かえるの子は □ ( ) 意味 ( )

語句 ほとけ なみだ かえる いしろう しんじゆ

意味  
 ア どんな人でも外面を飾れば立派に見える。  
 イ 子どもの才能や性格などは、親に似るものだ。  
 ウ 価値のある物も、それを知らない人には無意味だ。  
 エ 非情な人でも、ときには情け深くなることがある。

オ 知らずにいれば心おだやかでいられる。